

[道後温泉本館]



道後温泉は約 3,000 年の歴史を誇る日本最古の温泉といわれ、足を痛めた白鷺が湧き出る温泉で傷を癒したことが起源とされています。平成 6 年に公衆浴場として初めて国の重要文化財の指定、平成 21 年に有名観光ガイドブックで最高ランクの「三ツ星」評価を受けるなど、広く国内外から認められています。また、平成 30 年 6 月には道後のシンボルとして「四国八十八景」にも選定されました。現在、保存修理工事中ですが、1 階にて入浴できます。

新たに建設された道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」(あすかのゆ)にもお越しください。



※平成 31 年 1 月から保存修理工事中のため、現在の景観とは異なります。

[景観ミニ通信] 景観は、街を構成する自然や建築物など視覚で捉えられる街並みや都市の風景と、これらを眺めることにより感じる街の特徴やイメージとが結びついたものです。人々が行き交い賑わう街、歴史・文化の薫る街、緑や海に恵まれた街、落ち着いた街といった特徴やイメージを高めていくことで、住む人や訪れる人がその景観に対して誇りや愛着を持つことに繋がります。景観は時間を積み重ねて形成されるものであり、市民の共有財産として次の世代を見据えた長期的な視点で育んでいくことが必要です。本市では「松山市景観計画」を策定し、魅力ある景観の保全・向上を図るため、「道後温泉本館周辺」や「松山城への眺望」などを重要な景観地区・保全区域に指定しています。